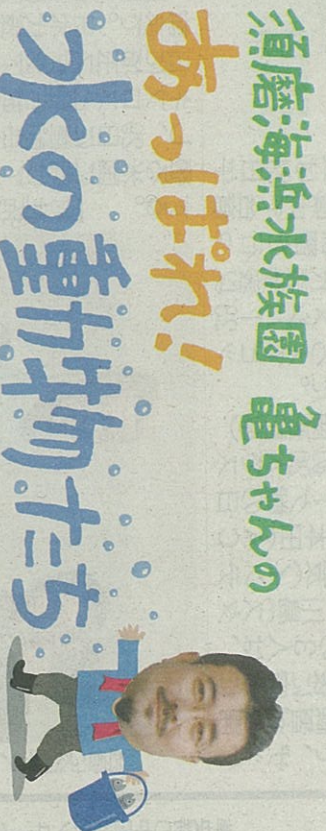


争い避ける「順位」付け

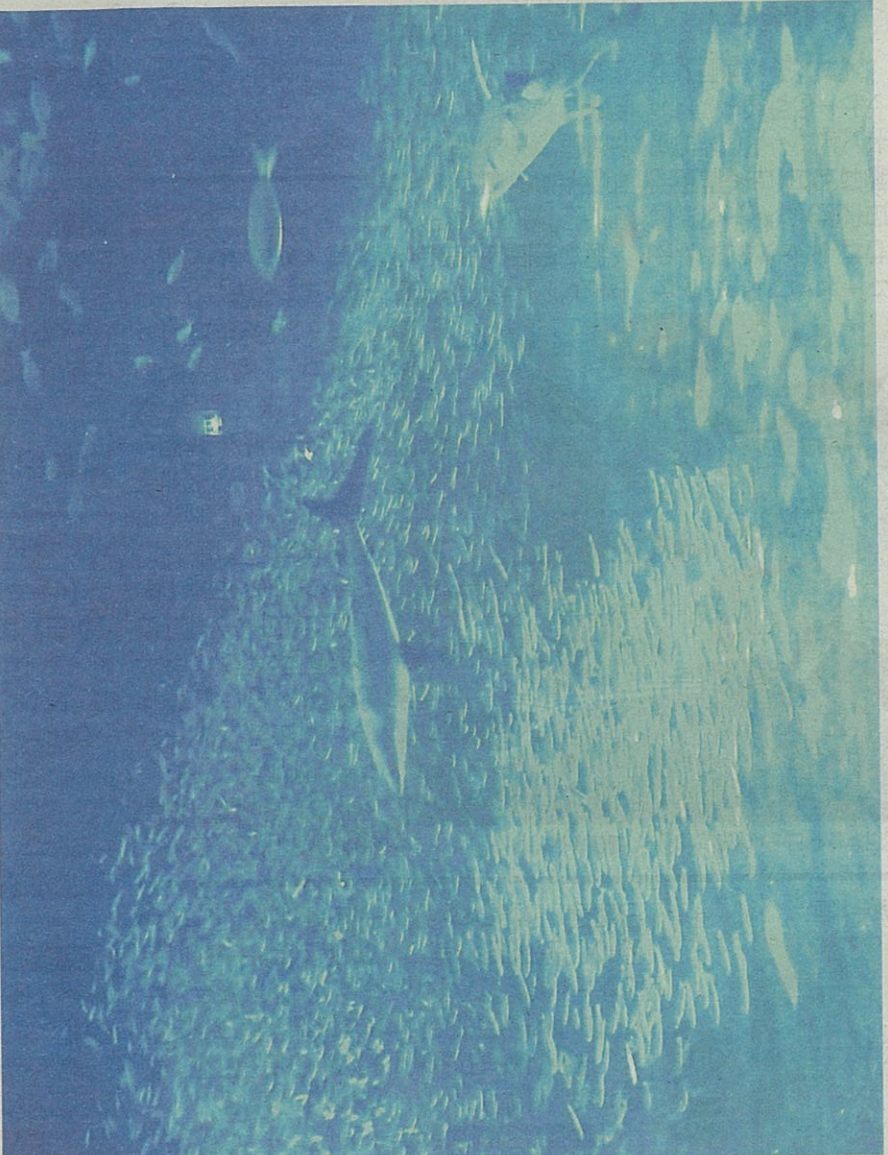
去年の今ごろ、須磨海浜水族園は「フコウアヒメ」が一生懸命に子育て中だ。子育て中の子供は、お母さんと同じように子育てをする。子育て中の子供は、お母さんと同じように子育てをする。子育て中の子供は、お母さんと同じように子育てをする。子育て中の子供は、お母さんと同じように子育てをする。

子育て中の子供は、お母さんと同じように子育てをする。子育て中の子供は、お母さんと同じように子育てをする。子育て中の子供は、お母さんと同じように子育てをする。子育て中の子供は、お母さんと同じように子育てをする。子育て中の子供は、お母さんと同じように子育てをする。

子育て中の子供は、お母さんと同じように子育てをする。子育て中の子供は、お母さんと同じように子育てをする。子育て中の子供は、お母さんと同じように子育てをする。子育て中の子供は、お母さんと同じように子育てをする。子育て中の子供は、お母さんと同じように子育てをする。



須磨海浜水族園 亀ちゃん



須磨海浜水族園・大水槽のマイワシの群れとそれを襲うサメ (ツマグラロ)

平和慣れに儀式でカツ

去年の今ごろ、須磨海浜水族園は「フコウアヒメ」が一生懸命に子育て中だ。子育て中の子供は、お母さんと同じように子育てをする。子育て中の子供は、お母さんと同じように子育てをする。子育て中の子供は、お母さんと同じように子育てをする。子育て中の子供は、お母さんと同じように子育てをする。

になる。

産まれた「フコウアヒメ」は、お母さんと同じように子育てをする。子育て中の子供は、お母さんと同じように子育てをする。子育て中の子供は、お母さんと同じように子育てをする。子育て中の子供は、お母さんと同じように子育てをする。

子育て中の子供は、お母さんと同じように子育てをする。子育て中の子供は、お母さんと同じように子育てをする。子育て中の子供は、お母さんと同じように子育てをする。子育て中の子供は、お母さんと同じように子育てをする。子育て中の子供は、お母さんと同じように子育てをする。



エランドン・パンドタカ。アソビ川で群れをついて生活している。須磨海浜水族園の水槽で群れをつくる際も、時々順位を確認する小鯉もあわせている。いずれも須磨海浜水族園で



となく順位がある。その順位が明瞭であるならば、戦争は起ころない。ところが、順位が明瞭でない国同士があったりする。そこで順位の確認が必要になるが、それが一筋縄ではいかない。今から70年前、先の大戦で国の順位が、おおよそ決まった感があった。最近、その順位が分からなくなっているのか少し心配である。

11次回は6月21日

1956年

亀崎直樹 (かめぎさき・なおき) 元園長。岡山理科大学生物地球学部教授。専門はウミガメを中心とした海洋生物学。



このような関係は人間社会にも少し当てはまるのかも知れない。国家の間にはなん

そこで、動物たちは戦いを避ける方法を身に着ける。最もシンプルで戦いの回避方法が「なわばり」をつくることである。群れをついて生活している。群れをついて生活している。群れをついて生活している。群れをついて生活している。

前も書いたので、今回は順位を、なわばりについで、以て「順位」をつくることである。群れをついて生活している。群れをついて生活している。群れをついて生活している。群れをついて生活している。

戦いを避けるには、物理的戦いを避けることと、戦いに接触を避けることと、戦いの勝ち負けを決めておく方法があるのだ。順位制とは後者の方法である。勝ち負けを観察してみると、大きい魚が小さい魚を襲っているのだ。決まっていれば、戦いも意味がない。弱い方は折れて、強い方が利益をとる。どこか、戦いをまったく行っていない。つまり平和な関係が長い。つまり平和な関係が長い。つまり平和な関係が長い。つまり平和な関係が長い。

が確認できるのである。